第118号
昭和41年(1966)
10月10日 発行

発行人
栃尾市
新潟県栃尾市
電話(代表)2151番

広報とちあ

昭和32年2月20日第三種郵便物認可 毎月10日発行(定価一部2円)

栃尾市の人口

(9月末日現在)

世帯数	7,599
男	17,586人
女	18,984人
計	36,570人

今月の市税

▷市県民税　第3期分
▷国民健康保険税10月分
▷軽自動車税　随時分
納期 10月31日

第四回 市議会定例会終る

教育委員など選任

九月定例市議会は、さる九月二十六日から市役所で開かれ、会期を五日間ときめ九月三十日閉会しました。

この市議会に提案された議案十六件と議員提出議案二件は、いずれも原案どおり可決されました。このほかに、請願十九件、陳情四件が慎重に審議されました。

可決された議案のうち主なものは、昭和四十一年度一般会計補正予算、同特別会計の国民健康保険と宅地造成事業の各補正予算、教育委員の任命、監査委員と固定資産評価審査委員の選任、新山地区市営土地改良事業計画の承認と同土地改良事業の分担金賦課徴収条例の制定などとなっています。

教育委員に 佐藤宇助氏

市教育委員大崎市郎氏は、九月三十日で任期が満了になるため、市長職務代理者助役は、その後任に佐藤宇助氏を氏名 二国 幸一郎 住所 大字天下島三四番地一 大正九年十月十四日生 固定資産評価審査委員 氏名 佐藤 久左エ門 住所 大字卷淵二二九番地 明治四十三年十一月二十八日生 と任命したい旨を議会にはかり同意を得て決定しました。

教育委員 佐藤宇助
大正七年五月二十三日生
住所 大字栃尾町戊一三三番地
職業 会社社長

監査委員と固定資産評価審査委員は再任

九月三十日で任期満了となる市監査委員の二国幸一郎氏ならびに十月十四日で任期満了になる市固定資産評価審査委員佐藤久左エ門氏の再任が九月三十日の議会でそれぞれ選任の同意を得て再任されました。

監査委員

選挙人名簿の追加 登録には証明書が必要

九月三十日から、選挙人名簿が水久式選挙人名簿になりましたが、この名簿に追加登録するためには、原則として本人の登録申し出の手続きが必要です。

市内の人で新らしく満二十年になった人、選挙権の停止を解除された人などは、選挙管理委員会に登録申し出をしてください。

特に市外から転入された人は、前住所地から「選挙人名簿登録証明書」か「未登録証明書」の交付を受けて、登録申出書に添付することになっています。また市外に転出される場合も、同じように本市の選挙管理委員会から証明書をもらって転出先へ持参してください。

追加登録は、十月十日現在で第一回目を行ないましたが今後は、申し出手続きされた人について、毎年三月一日と九月一日現在の二回行ないます。

投票区名	有権者数
第1(市役所)	3,757
〃2(栃尾小)	4,518
〃3(小貫公)	312
〃4(土ケ谷分)	136
〃5(徑出小)	1,109
〃6(熊袋教)	482
〃7(農人面支所)	562
〃8(川谷小)	453
〃9(梅野俱区)	282
〃10(上塩小)	1,021
〃11(塩川小)	573
〃12(栃堀小)	1,139
〃13(東谷小)	1,235
〃14(天下島青)	995
〃15(荷頃小)	934
〃16(一之貝小)	573
〃17(軽井沢分)	202
〃18(比礼小)	209
〃19(本津川公)	99
〃20(入東公)	576
〃21(吹谷公)	275
〃22(渠山沢小)	234
〃23(西谷公)	351
〃24(田之口公)	162
〃25(森上小)	182
〃26(中野俱小)	517
〃27(新山公)	242
〃28(紫窟公)	238
〃29(半蔵金中)	524
〃30(田代分)	94
計	21,986

選挙人名簿の追加 知事から感謝状 名児耶ヨシさんに

六月二十日現在で一せい調査して作られた永久式選挙人名簿は、九月三十日から効力が発生し、今後行なわれる選挙につかわれます。投票区別登録者数は、次のとおりです。

このほど、一之貝の名児耶ヨシさん(八十五才)=栃尾市人間文化財(県指定に)県知事から感謝状が贈られることになり、その贈呈式がさる二十一日市役所で行なわれました。これは、さる八月一日から五日までの六日間長岡市厚生会館で行なわれた第十一回新潟県農業文化展で、農村民芸品として、「越後てまり」の製作実演を行ない大変好評だったので贈られたものです。

【写真は感謝状をうける名児耶さん】

一般会計予算を補正 市道舗装費に一千万円

昭和四十一年度一般会計補正予算(第三号)が原案可決されました。

今回の補正額は、二千九百七万円で、予算総額は八億五千七百五万七千円になりました。

補正された主なものをお知らせしますと、

(歳出)

◎県有雪上車購入費担金(県が購入して市に配置する)　百七十七万円
◎西谷診療所運営費補助金(成参証費)　百七十万円
◎栃尾小給食設備費　百五十万円
◎へき地学校体育用具購入費　六十万円
◎39、40年災害農地復旧事業特別補助金　百八十六万円

(歳入)

◎臨時地方特例交付金百万円
◎繰越金二千二百八万七千円
◎市債　一千四百万円などです。

宅地造成事業会計 排水溝の工事費など追加

昭和四十一年度宅地造成事業特別会計補正予算(第二号)が原案可決されました。

補正額は七十六万円で、これは、東が丘団地の取付道路の排水溝工事費五十万円とは事務費などです。この財源は、財産売払収入でまかなわれています。

人事発令

採用(十月一日付)
▽多田テツ(電話交換手=総務課)
清掃指導員を発令
▽高島弘一(保健衛生課長)
▽植村盛吾(同課長補正)▽藤田英雄(清掃センター長)
退職(九月三十日付)
▽佐藤謙二(技術吏員=産業課)

退職された佐藤謙二氏は、昭和二十九年六月一日市制施行と同時に就職され、主として農業土木の技術の仕事に従事されてきたかたです。

市民の声

◎保育備品費助成に関する請願
◎栃尾高等学校上塩谷分校をロパンガス置場並教室模様替に関する請願
◎道路の舗装水路の延長に関する請願
◎保育所備品費等助成に関する請願
◎林道開設に関する請願
◎田代分校旧校舎無償払下げに関する請願
◎半蔵金小学校田代分校の[illegible]
◎市道[illegible]に関する請願
◎保育所遊具購入補助に関する請願
◎[illegible]に関する請願
◎[illegible]に関する請願
◎[illegible]に関する請願
◎[illegible]に関する請願
※不採択　一件

◎継続審査　五件
(陳情)
▼[illegible]に関する陳情
▼[illegible]に関する陳情
▼[illegible]に関する陳情

号外
昭和41年(1966)
10月31日発行

発行人
栃尾市
新潟県栃尾市
電話(代表)2151番

広報とちあ

昭和32年2月20日第三種郵便物認可　毎月10日発行(定価一部2円)

のんだら のるな
のるなら のむな

毎月20日は市の交通安全日です

交通安全都市宣言

交通事故を無くしよう!! 市総ぐるみで事故防止へ

交通事故が年々増加の傾向にあり、多くの尊い人命や財産が失われております。

これからの交通事故防止は市総ぐるみであたらなければなりません。

そのため、市では、さる十月二十日交通安全都市の宣言を行いました。

交通安全宣言都市の名にはじないため、市民ひとりひとりが正しい交通道徳を身につけるとともに、交通環境の整備に市民の力を結集しましょう。

宣言

最近における市内の交通量の激増は、本市産業経済の伸展と市民生活の向上を示すものとしてよろこべることであります。

反面、これにともなって交通事故が増加しています。

これは、まことに憂慮に堪えないところであります。

交通事故の無い、明るい、住みよい栃尾市建設に寄与するため、全市民が、人の生命が何ものにもかえがたく尊いものであることの自覚を新たにし交通事故が人の力によって防ぐことのできるものであることの認識を深め、交通道徳を守り、規則に従い、交通環境の整備拡充につとめ、市民が互に力をあわせて交通の安全を図り、もって交通事故を無くすることを決意し、ここに三万七千市民の名において栃尾市を交通安全都市とすることを宣言します。

昭和四十一年十月二十日

栃尾市

【写真　上は、諏訪神社における宣言式　下は、市中パレード】

安全都市宣言にあたり

栃尾市長職務代理者
栃尾市助役　渡　辺　芳　夫

産業経済の伸展にともなう最近における交通問題は深刻なものがあり、交通安全協会、交通安全母の会の結成等関係機関のご協力をいただいて交通事故防止に努めてまいりましたが、去る九月市議会において栃尾市として交通安全都市宣言をし、一段と強力に交通事故防止を図ることに決定をいただきました。

今後は、この宣言のみにとどまらないよう、市といたしましても交通安全の施策を講じて行きたいと存じておりますが市民一人一人が自覚をあらたにし、交通道徳を守り、交通事故防止に努めてまいりましたが、去る九月市議会において栃尾市として交参加をいただいて、栃尾市から交通事故を無くしようであります。

本市におきましては、特に道路整備が遅れており交通事故の問題は深刻なものがあり、交通安全協会、交通安全母の会の結成等関係機関のご協力をいただいて本市のみならず大きな社会問題となり、その対策についていろいろ措置が講じられております。

しかしながら交通量は日を追って増加し、これに伴って交通事故も依然として増加しておりますことは誠に残念なこと